

○北九州聯合會長

桐野 豐吉

○九州同盟會常任書記

稻葉 菊雄

13、附會

有永 靈城

14、天皇陛下萬歲、日本農民組合萬歲 三唱

○引續き演說會を開催せり

辯士日本農民組合本部

北山 亥四三

日本農民組合九州同盟會會長

稻富 稜人

九州同盟會調停部長

藤崎 常吉

青年部長

稻葉 菊雄

北九州聯合會會長

桐野 豐吉

論旨は九州同盟大會と大同小異に付省略

宣 言

祖國非常時の聲を聞くこと今や既に久しく、一九三五、六年の危機を叫ぶ者巷間に充てりと雖も、或は徒囑嘯し、徒らに杞憂に耽けるの徒輩のみ多くして、眞に的確なる時局への認識を把握して國家的立場より問題の解決に死力を致す者の寥寥として人無を見る時、我等は皇國の前途に一抹の不安を感ずるものなしとせず。夫れ一九三五、六年の世界情勢を概観せんかロンドン及びワシントンの兩條約は更新期たり。ソビエト第二次五ヶ年計畫は完了し、聯盟脱退の効力發生と共に南洋統治領問題は必然的に紛糾を豫想さるべく、加へて隣邦支那の抗日三ヶ年休戦の期間は満了して滿洲國問題の再燃は之亦免かるべくも非ざるべし。

外に對しては如上幾多の重大問題を目前に控へし皇國の、そ